

大学職員情報化研究講習会～基礎講習コース～ 研修報告

D-1 班 グループ名：出藍の誉れ

日時：平成 29 年 7 月 18 日～20 日

場所：浜名湖ロイヤルホテル

テーマ：これからの大学の在り方

1. 大学のあるべき姿

我々のグループでは、中央教育審議会の『三つのポリシーの策定と運用に係るガイドライン』で述べられている「生涯学び続け、主体的に考える力を持ち、未来を切り開いていく人材を育成する」という一文に着目し、大学の役割もこのようにあるべきではないかと考えた。しかし「主体的な学生を社会に送り出す」という点について考えてみると、現状、多くの大学では短期的な就職活動の支援しかできておらず、前述の「主体的な」という点で、役割を十分に果たせていない。この問題を解決するにあたり、我々のグループでは「ライフプランニング」という言葉をテーマに、「学生が主体的に活動できる場を提供し、社会に送り出す」仕組みについて議論を進めた。

2. 大学生の現状

現在、新卒者の 3 年以内離職率は 31.9%という高い数字となっている。要因はいくつか考えられるが、大学生の多くは人生設計について考える機会がないことが大きいのではないかと考えた。働くことについて、具体的なイメージを描かず、今後の人生設計について考えないまま、就職活動に臨んでしまう。そうした結果、企業とのミスマッチが生じ、高い離職率に繋がっているのではないかと考えた。

3. ライフプランニング・センター

前述のとおり、現在、多くの大学生は長期的な人生設計をする機会がなく、短期的な就職活動に注力する傾向にある。働くことは自分にとってどういう意味を持つか、自分にとって適切なワークライフバランスはどのようなものか、そういった点まで踏み込んで人生設計をする場所として、ここでは「ライフプランニング・センター」という場所を提案したい。このセンターは、通常のキャリアセンターの機能に加え、ライフプランシートの作成や OB・OG との交流を通じて、人生設計のきっかけづくりとなるような仕組みを提供する。具体的には大きく分けて、①学生向けの支援 ②OB・OG 向けの支援というような 2 つの機能を考えた。

① 現役学生に向けた支援

○ ライフイベントシートの作成

在学中の計画はもちろん、今後、どのような人生を過ごすかを電子媒体

上で入力することができる。このシステムは在学中だけではなく卒業後も使用することができるので、随時、加筆・修正することができる。また、システム上に蓄積されたOB・OGのライフイベントシート等の各種情報も参照することができる。こうした仕組みを使い、詳細な人生設計を記述することで、自分がどのような人生を送りたいかを意識することができる。

○ OB・OG との交流会

OB・OG との交流会を定期的を開催し、見識を広げ、人生設計に役立てる。OB・OG をロールモデルとして、キャリアを学ぶことができる。

② OB・OG に向けた支援

○ OB・OG 向け個別相談

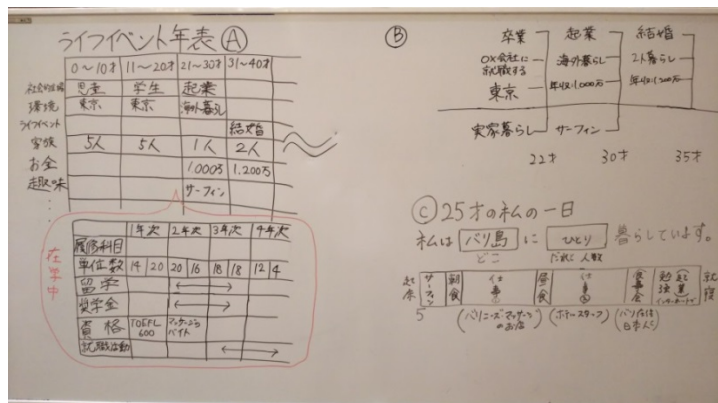
本センターは卒業生も利用することができる。スタッフが随時、キャリアアカウンセリングに応じる。具体的には転職やファイナンシャルプラン等についての個別相談を想定している。

○ 異業種交流会

OB・OG が交流できるサロンのようなものを想定している。

こうした取り組みを通じ、現役学生と卒業生の母校愛を育むことができれば、副次的に様々なメリットを生むことにもつながる。ただし、このセンターの役割は、あくまで人生設計のきっかけを提供することである。学生に対して一方的にプログラムを投げかけるのではない。学生に主体的な「ライフプランニング」を意識させ、卒業後も自立した人生を送れるように、考える機会を提供する場所である、ということは強調しておきたい。

参考：ライフイベント年表等のイメージ図



以上